

(88)

氏名(生年月日)	ハラ 原	ヒサ 尚	ト 人
本籍			
学位の種類	博士(医学)		
学位授与の番号	乙第1252号		
学位授与の日付	平成4年3月13日		
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当(博士の学位論文提出者)		
学位論文題目	褐色細胞腫患者の術前・術中・術後の血漿中エンケファリン濃度		
論文審査委員	(主査) 教授 出村 博 (副査) 教授 高桑 雄一, 香川 順		

論文内容の要旨

目的

内因性オピオイド物質であるエンケファリンの血中濃度の測定が、褐色細胞腫患者の発見にどの程度有効か、またこの物質が褐色細胞腫の一見複雑な病態にどのようにかかわっているかを明らかにせんとした。

方法

1989年より1991年までに東京女子医科大学内分科にて手術を施行した褐色細胞腫患者14例を対象とした。対照として、原発性アルドステロン症4例、ホルモン非産生性副腎腺腫1例、甲状腺髄様癌1例の計6例を選んだ。これらの患者の末梢血を術前、術中腫瘍摘除操作中、術後第7病日の3点で採取し、エンケファリン血中濃度をRIA法にて測定した。

結果

褐色細胞腫患者群における血中ロイシン-エンケファリン濃度は、

(1) 対照群に比して術前、術中において有意に高値を示し、術後は有意差を認めなかった。

(2) 褐色細胞腫をアドレナリン・ノルアドレナリン分泌型とノルアドレナリン分泌型に分類すると、アドレナリン・ノルアドレナリン型患者において高値を示す傾向が見られたが、統計学的に有意差はなかった。

(3) 高血圧発作の有無で発作群と非発作群に分類すると、発作群がより高値を示す傾向を示したが、有意差はなかった。

(4) 臨床的に重症群と軽症群に分類すると、重症群で有意に高値を示した。

(5) 褐色細胞腫の手術時期による推移をみると、術

中>術前>術後という関係が成り立ち、これは同時に測定した血中カテコールアミン濃度の推移と一致した。

考察ならびに結語

エンケファリンは、血中へ放出されたあと、酵素により速やかに分解され、従来その測定が困難であったが、本研究では分解酵素阻害剤入りの容器を用いて採血した。その結果すべての褐色細胞腫患者において、ロイシン-エンケファリンは、従来報告されている組織中と同様に血中にも存在することがわかった。また、病型や発作形式による差も、組織中と同様に血中でも見られ、さらに、ロイシン-エンケファリンの血中濃度が、褐色細胞腫における重症度の指標となりうることが示唆された。

なお血中エンケファリンの測定が褐色細胞腫の発見に有用であるかどうかは、今日なおその測定が容易でないということも含め、肯定的な答は出せないように思う。

論文審査の要旨

ロイシン・エンケファリンは内因性オピオイドの一つであるが、副腎髄質にも存在する。本論文ではロイシン・エンケファリンの測定法を改良し、褐色細胞腫患者血中値を測定したところ、正常者より有意に高いことを初めて明らかにした。さらに病型ではノルアドレナリン・アドレナリン型、高血圧発作型で高く、また重症度の高い例で高値を示すことを見出した。学術上価値の高い論文である。

主論文公表誌

褐色細胞腫患者の術前・術中・術後の血漿中エンケファリン濃度

東京女子医科大学雑誌 第61巻 第12号

1060-1067頁（平成3年12月25日発行）

副論文公表誌

- 1) 超音波ガイド下穿刺誘導による肝膿瘍の2治験例. 交通医学 40 (3): 155~161 (1986) 原尚人, 福光正行, 皆川正巳, 関根久幸, 上寺祐之, 田中 潔, 上笹 功, 亀山 容
- 2) 甲状腺濾胞癌の胸椎転移により脊髄麻痺の始まった患者に対する積極的治療. 日臨外会誌 48 (2): 198-202 (1987) 原尚人, 八代 亨, 山下共行, 藤本吉秀, 日下部きよ子, 田川 宏, 平山 章
- 3) 成人大網嚢腫の1手術治験例. 交通医学 41 (5・6): 356-360 (1987) 原尚人, 上笹 功, 田中 潔, 亀山 容, 福光正行, 小林誠一, 寺野彰, 早川欽哉
- 4) 機能性上皮小体嚢胞の4例. 内分泌外科 5 (3): 359-362 (1988) 原尚人, 伊藤公一, 河野通一, 金地嘉春, 八代 亨, 児玉孝也, 伊藤悠

基夫, 小原孝男, 藤本吉秀, 平山 章

- 5) 甲状腺乳頭癌と鑑別困難な頸部腫瘤を呈した悪性胸腺腫—1手術例の報告ならびに文献的考察—, 内分泌外科 2 (4): 503-507 (1985) 岡本高宏, 藤本吉秀, 児玉孝也, 原尚人, 八代 亨, 山下共行, 伊藤悠基夫, 小原孝男, 平山 章
- 6) 放射線療法が著効を呈した甲状腺癌骨転移の1例. 交通医学 42 (1): 19-23 (1988) 田中礼子, 原尚人, 福光正行, 上笹 功, 田中 潔, 宮永豊, 下 盛勝, 浅原 朗, 早川欽哉
- 7) Pseudogout associated with primary hyperparathyroidism: management in the immediate postoperative period for prevention of acute pseudogout attack (原発性上皮小体機能亢進症における偽痛風—その術後予防). Endocrinol Jpn 35 (4): 617-624 (1988) Yashiro T, Hara H, Ito K, Tanaka R, Fukuuchi A, Yamashita T, Obara T, Fujimoto Y
- 8) 副腎腺腫によるクッシング症候群の病態分析: とくに重症度分類の試み. 内分泌外科 7 (4) 461-465 (1990) 児玉孝也, 岡本高宏, 原尚人, 伊藤悠基夫, 小原孝男, 藤本吉秀